



## 学力向上を目指して

この度、令和7年度全国学力・学習状況調査（令和7年4月17日実施 対象：小学6年生、中学3年生）の結果が示されました。これは、学力や学習状況を測る一つの指標ですので、調査結果を真摯に受け止め、課題を共有して、学校や家庭における「子供の学び」に対する意識を高めなければならないと考えています。

一人一人の子供の力を最大限に引き出し、学力を身に付けさせることが、子供の自尊感情を高め、将来を切り開く原動力となるという思いに立ち、教育委員会と学校、家庭、地域が、それぞれの立場から連携して子供たちの学力向上を目指した取組を進めていきます。

### 令和7年度全国学力・学習状況調査の結果

#### 1 教科に関する調査

※県、市における平均正答率は、小数点以下を四捨五入した整数表記となっているので、全国の平均正答率においても、四捨五入した整数表記にしています。

##### (1) 結果の概要

###### 【小学校】

調査問題	平均正答率		
	西海市	長崎県	全国
国語	64	66	67
算数	53	56	58
理科	55	57	57

###### 【中学校】

中学校理科は、平均IRTスコアを平均正答率として表示しています。

調査問題	平均正答率		
	西海市	長崎県	全国
国語	54	54	54
数学	41	46	48
理科	49	50	50

##### (2) 調査結果にみる本市の課題 (○…よい傾向 ●…課題)

###### ◇国語

- 自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。(小)
- 自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くこと。(中)
- 書く内容の中心を明確にし、文章の構成を考えること。(小)
- 読み手の立場に立って、表記を確かめて、文章を整えること。(中)

###### ◇算数・数学

- 小数について、数の相対的な大きさを用いて、共通する単位を捉えることができる。(小)
- 必ず起こる事柄の確率について理解している。(中)
- 資料から、必要な情報を選び、数量の関係を式に表し、計算することができる。(小)
- 多角形の外角の意味を理解している。(中)

###### ◇理科

- 理科で学習したことと関連付けて、知識を概念的に理解している。(小)
- 知識及び技能を関連付けて、地層の重なり方や広がり方を推定できる。(中)
- へちまの花のつくりや受粉についての知識が身に付いている。(小)
- 化学変化の分解の知識が概念として身に付いている。(中)



#### 【調査結果のまとめと今後に向けて】

各教科において、「学んだ知識や技能を、目的に応じて活用し、他者に伝わるように表現・構成する力」に課題が見られます。今後、西海市内すべての小・中学校が、これまで以上に「書く力をはじめとした表現する力の向上」を目指して取り組んでいく必要があります。

## 2 質問紙調査

### (1) 児童生徒質問紙（一部抜粋）

\*\*\*・・・全国を3ポイント以上上回る      \*\*\*・・・全国を3ポイント以上下回る

質問事項	小学6年生		中学3年生	
	本市	全国	本市	全国
1 朝食を毎日食べている。	94.0	93.7	91.6	91.2
2 毎日、同じくらいの時刻に寝ている。	84.6	81.9	84.8	81.0
3 将来の夢や目標を持っていますか。	81.1	83.1	64.0	67.5
4 学校に行くのは楽しいと思えますか。	93.1	86.5	89.4	86.1
5 友達関係に満足していますか。	95.0	91.7	95.0	91.4
6 平日、学校の授業以外に、1日当たり、1時間以上勉強している。 (中学生は2時間以上)	43.8	54.0	9.6	30.8
7 平日、学校の授業以外に、1日当たり、1時間以上、パソコンやタブレットを勉強のために使っている。	14.5	19.6	11.7	13.7
8 休日、1日当たり、2時間以上勉強している。 (中学生は3時間以上)	13.5	21.0	4.5	13.8
9 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。	74.6	81.7	74.7	77.5
10 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見通し、次の学習につなげることができていますか。	73.6	79.4	70.2	73.4

### (2) 調査結果にみる本市の児童生徒の傾向と課題 (○…よい傾向 ●…課題)

- 9割程度の児童生徒が「朝食を毎日食べている、だいたい毎日食べている」と回答しており、家庭の協力を得て、基本的な生活習慣が身に付いていることが分かる。
- 「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」と回答した生徒の割合が全国平均を上回っている。
- 「学校に行くことは楽しい」「友達関係に満足している」と回答した児童生徒の割合が、全国平均を大きく上回っている。
- 「将来の夢や目標を持っている」と回答した児童生徒の割合が全国平均を下回っている。
- 「平日や休日に十分な時間の家庭学習に取り組んでいる」児童生徒の割合が、全国平均を大きく下回っている。
- 「自分で学び方を考え、工夫することができている」や「学習した内容を次につなげたりすることができている」と回答した児童生徒の割合は、全国平均を下回っている。

#### 【調査結果のまとめと今後に向けて】

家庭学習の質や量を改善していくことが西海市の課題です。テレビゲームやSNS、動画視聴等の時間について、各家庭でルールを決めるなどして学習時間の確保に向けた取組を行い、家庭学習の習慣化を図り、「学びに向かう力」を高めていく必要があります。

## 家庭の取組

◇全国学力・学習状況調査における児童生徒質問紙調査の結果から、次のような「めざす具体的な姿」について、御家庭で話し合ってみましょう。そして、現在の自分の姿と照らし合わせて5段階で自己評価をするとともに、それに対して励ましの声をかけてみるなど、御家庭で活用してください。

【自己評価日：令和7年 月 日】



	めざす具体的な姿	自己評価
1	毎日、( )時( )分までに起きる。	
2	毎日、朝食は、( )時( )分に食べる。	
3	毎日、( )時( )分までに寝る。	
4	平日(月曜から金曜)、学校以外で( )分ぐらい学習する。	
5	休日(土曜と日曜)、( )分ぐらい学習する。	
6	テレビゲームやSNS、動画の視聴などは、1日( )分までにする。	
7	家の人と決めた約束は守る。	

★自己評価

5：よくできている      4：だいたいできている      3：ときどきできている  
2：あまりできていない      1：全くできていない

保護者からのコメント

## 学校の取組

◇学校では、全国学力・学習状況調査の結果を受け、次のような授業に努めます。また、学校の課題に応じた学力向上アクションプランを作成し、課題の改善に努めます。

- 授業のはじめに学習のめあてを設定し、授業の終わりに「できるようになったこと」と「まだ、できるようになっていないこと」を確認し、まとめる。
- 授業内容を振り返ることができるような、子供に分かりやすく効果的な板書を行う。
- 子供から複数の意見が出るような問いを発し、その共通点と相違点を明らかにしながら、より良い意見となるよう考えさせる。
- 「なぜそうなるか？」について考えさせ、子供に言葉で説明させる場面を設定する。
- 「総合的な学習の時間」において児童生徒自身が自分なりの課題を設定でき、課題を解決するために調べ、追究できるような学習の流れにする。
- 同じ地区の小学校と中学校が連携し、家庭学習の質や量の充実を図る。
- 1人1台端末(クロームブック)を授業や家庭学習で活用する。

## 西海市の取組

◇西海市教育委員会では、令和7年4月から新たな学力向上の取組として、「西海市学力向上5アッププロジェクト」を立ち上げました。本プロジェクトは、各学校、家庭・地域、教育委員会が一体となって取組を展開することで、「主体的に学びに向かう子供」を育成し、市全体の学力向上を目指します。具体的には、「学びに向かうモチベーションアップ」を中心とした以下の5つのプロジェクトを展開、推進していきます。

【5アッププロジェクト】

- 学びに向かうモチベーションアップ**
  - ・各学校における校内研究の充実
  - ・学びの土台となる基本的な生活習慣の徹底
  - ・メタバースを活用したオンライン学習会の実施
- ICT活用・教育DXのレベルアップ**
  - ・WebQUを活用した学級づくり
  - ・長崎総合科学大学と連携した取組
  - ・新型学校ホームページや保護者連絡ツールの導入
- 教職員のスキルアップ**
  - ・希望参加型の研修会の充実
  - ・大学教授等、専門家を講師に招いた研修会の開催
  - ・次世代リーダー育成型研修会の開催
- 英語力向上のチャレンジアップ**
  - ・各地区で小中連携の取組を推進
  - ・家庭学習における英語アプリの活用
  - ・指導主事による研修会の開催及び授業づくり支援
- 学校や地域からのボトムアップ**
  - ・全教職員を対象としてアンケートの実施
  - ・コミュニティ・スクールにおける学力向上の取組
  - ・学力向上推進会議・小中連携検討会議の開催